



安波山からの気仙沼市

目黒区友好都市・宮城県気仙沼市と目黒区の音楽家たちによる復興支援コンサートを開催！  
復興に向けて力強く進む気仙沼市の魅力を盛り込んだプログラムをお届けします。

# 東日本大震災 復興支援コンサート

2019年 **3月17日**(日)  
13:30 開場 14:00 開演

**会場** めぐろパーシモンホール 小ホール  
東急東横線「都立大学」駅より徒歩7分

**出演内容** **第1部** 気仙沼市民吹奏楽団と目黒吹奏楽団による混成楽団  
～気仙沼市民のソウルダンス「はまらいんや踊り」吹奏楽バージョン～  
編曲：山崎勇太

**第2部** **熊谷育美** (シンガー・ソング・ライター)  
目黒区立中目黒小学校合唱団  
司会：佐藤千晶



混成楽団

気仙沼市と目黒区の吹奏楽団が、  
気仙沼市民のソウルダンス  
「はまらいんや踊り」の  
吹奏楽アレンジの演奏に初挑戦！



熊谷育美

気仙沼市出身のシンガー・ソング・  
ライター熊谷育美のコンサート  
ラストは目黒区立中目黒小学校  
合唱団との共演も！

チケット  
発売中

**チケット料金** 【全席指定】1,000円  
※チケット収入の一部を被災地に寄付します  
※車椅子席はホールチケットセンター電話・窓口のみ取扱

**チケット取扱** めぐろパーシモンホールチケットセンター  
窓口・TEL 03-5701-2904 (10:00～19:00)  
WEB <http://www.persimmon.or.jp>

## 関連企画 気仙沼漁師カレンダー展

気仙沼の女将たちが街の宝を発信したいという  
思いから誕生した『気仙沼漁師カレンダー』。  
写真家・奥山由之の目線で“漁師”の生き様を  
切り取った写真がカレンダーになりました。  
カレンダーを企画した「気仙沼つばき会」の  
皆さんの活動にも焦点をあてながら  
展示を開催します！



2019年2月1日(金)～3月17日(日) 8:30～22:00

**会場** めぐろ区民キャンパス地下1階プラザ

観覧  
無料

期間中はカレンダーの販売も！詳しくはホールHPへ

同日開催



気仙沼市観光キャラクター  
「海の子 ホヤぼーや」

## 宮城県気仙沼市 物産展&震災復興写真展

宮城県気仙沼市の特産品をお届け！  
気仙沼市の被災当時の様子を記録した写真展も開催

2019年3月17日(日) 10:00～13:00

※13:30以降はコンサート来場者のみ入場可

入場  
無料

**会場** 小ホールホワイエ

※商品はイメージです



# 東日本大震災復興支援コンサート

2016年から引き続き4回目の開催となる、目黒区友好都市・宮城県気仙沼市と目黒区の音楽家たちによる東日本大震災復興支援コンサート。

毎年恒例となっている第1部の気仙沼市民吹奏楽団と目黒吹奏楽団によるジョイントコンサートでは、気仙沼市の魅力を音楽で届けようと、気仙沼市の夏最大のお祭り「気仙沼みなとまつり」で行われる「はまらいんや踊り」を取り上げ、今回初となる吹奏楽アレンジでの演奏とパフォーマンスで港町の活気と人々の力強さを表現します！

第2部では気仙沼市出身のシンガー・ソング・ライター熊谷育美によるコンサート。フィナーレには目黒区立中目黒小学校合唱団との合唱の共演をお楽しみいただきます。

## 熊谷育美 Ikumi Kumagai

宮城県気仙沼市出身のシンガー・ソング・ライター。

2009年にメジャーデビュー後も、愛するふるさとである『気仙沼』に現在も住み活動している。震災直後に発売した『雲の遙か』は東北だけでなく全国で愛されている。

2011年よりNHK復興支援ソング『花は咲く』プロジェクトに参加。堤幸彦監督作品では主題歌に多く起用され、2010年には映画『劇場版TRICK霊能力者バトルロイヤル』に『月恋歌』が、2015年には『悼む人』で『旅路』が主題歌として4作品目となった。

2016年には『熊谷育美ベストアルバム～Re:Us～』を発売。2018年11月にメジャーデビュー10周年を迎えた。



## 佐藤千晶 Chiaki Sato

宮城県気仙沼市出身。みなど気仙沼大使／フリーアナウンサー。

2008年東日本放送（KHB）に入社。2010年には地元である気仙沼のマグロ漁船の様子を追ったドキュメンタリー『遠洋にマグロを追って』のナレーションで、第9回ANNアナウンサー賞の「原稿のあるもの部門」最高賞である優秀賞を獲得した。

2011年名古屋放送に移籍。2014年4月よりフリーに。テレビ、ラジオ、ライフワークとして東北の復興イベントのMCなど、幅広く活躍。文化放送「走れ歌謡曲」木曜パーソナリティも務める。



### 「気仙沼みなとまつり」を盛り上げる気仙沼市民のソウルダンス「はまらいんや踊り」！



はまらいんや踊りの風景

気仙沼市民のソウルダンスと呼ばれ親しまれている「はまらいんや踊り」は、航海の安全と大漁を祝う気仙沼市の夏最大のお祭り「気仙沼みなとまつり」の目玉イベントの一つ。毎年、色鮮やかな法被や衣装をまとった踊り手たちが、生バンドの演奏に合わせ、チームごとのオリジナルの踊りを披露しながら町中を練り踊ります。

「はまらいんや」とは気仙沼弁で“一

緒に仲間に入りましょう”という意味。現在では地元の方以外にも、震災時にボランティアで来てくれた学生さんたちが集まり、共に年に1度のお祭りを盛り上げます。

今回は港町の活気をお届けするため、初のスペシャル吹奏楽バージョンで「は

まらいんや踊り」を披露します！気仙沼市と目黒区のみならず、はまらいんや！



気仙沼みなとまつりの風景

### 『気仙沼のスーパーヒーロー』である“漁師”の魅力を気仙沼の女将たちが発信する！

気仙沼  
漁師カレンダー展

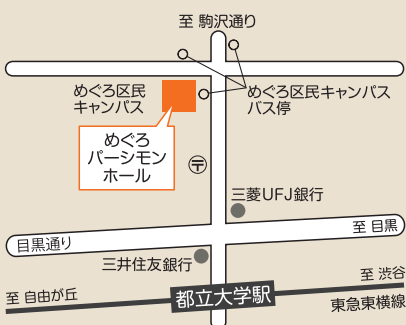
気仙沼の「おもてなし」を考えようと地元の旅館・ホテルの女将を中心に女性限定で発足した「気仙沼つばき会」。震災を機に「街の宝を発信していかないとけない。気仙沼の宝は“漁師”だべ」と思い立ち、2012年に企画されたのが『気仙沼漁師カレンダー』。

2013年に発売した1作目は写真家・藤井保氏が撮影を担当し、全国カレンダー展にて「経済産業大臣賞」を受賞。続いて2016年版は浅田政志氏、2017年版は川島小鳥氏、2018



年版は竹沢うるま氏など毎回著名な写真家が撮影を担当し様々な賞を受賞しています。

そして5作目となる2019年版の撮影は奥山由之氏が担当。果敢に漁師の輪の中に飛び込み漁師という人たちの生き様、それを支える人々、そして気仙沼を感じることができる50点もの写真がカレンダーになりました。本展ではカレンダーを企画した「気仙沼つばき会」の活動と共に気仙沼の魅力を発信していきます。



#### めぐろパーシモンホールへのアクセス

- 東急東横線「都立大学」駅より徒歩7分
- 東急バス「めぐろ区民キャンパス」バス停下車すぐ
- 渋34 渋谷駅～東京医療センター
- 多摩01 多摩川駅～東京医療センター
- 黒07 目黒駅～弦巻営業所
- 都立01 成城学園前駅～都立大学駅北口

※駐車場の台数が少ないため、ご来館には公共交通機関をご利用ください。

東京都目黒区八雲1-1-1めぐろ区民キャンパス内  
☎03-5701-2913 <http://www.persimmon.or.jp/>

#### 公演に際しての留意事項

- 未就学児の入場・同伴はご遠慮ください。
- やむを得ぬ事情により、出演者などが変更になる場合がありますのでご了承ください。
- 一度お求め頂いたチケットは、公演中止の場合を除きキャンセルできません。

@meguropersimmon f@meguropersimmonhall

めぐろパーシモンホール